



北区認知症フレンドリーコミュニティ通信

北区では、認知症になってもそれまでの暮らしが尊重され、これまでどおり暮らしていくけるまち「認知症フレンドリーコミュニティ」をめざした取組みをすすめています。
北区の認知症フレンドリーコミュニティづくりの活動について情報発信します。

Vol.34

北区認知症本人のつどいを毎月第四金曜日に開催中

@スターバックス名城公園店 第11弾

9月18日

この日は1人の認知症ご本人がご参加でした。近況報告のあと、学生時代の部活や習い事の話になりました。この日の参加メンバーには楽器を弾ける方が多く、ピアノ🎹やギター🎸などのメジャーな楽器から、マンドリン、クラリネットなど、珍しい楽器の名前もあがりました。

「みんなで演奏会がしてみたいね♪」と盛り上がりいました。

その後は現代の習い事の話題に。プログラミングやマジックなど、多種多様な現代の習い事に、認知症ご本人は「昔では考えられないね！」と驚きの声を上げていました。



9月26日



この日は初めての参加の方含め、4人の認知症ご本人に参加していただきました。

自己紹介のあと、最近の出来事を語り合いました。

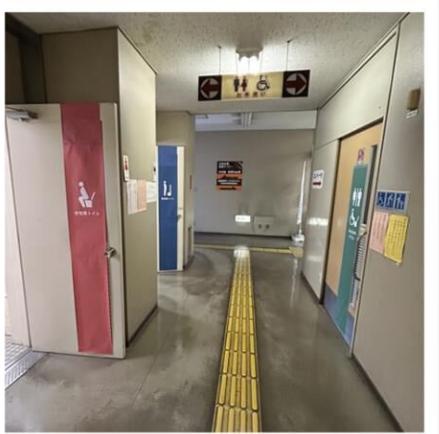
「分かりやすい案内表示」って…？

また、この日、参加者全員で北区役所1階のトイレを見て回りました。

本人のつどいのために来庁された認知症ご本人が、トイレを利用する際、男性用トイレと女性トイレが分からず、毎回戸惑ってしまい、職員が案内していることをきっかけとして、「分かりやすい案内表示」のデザインを検討し、新しくトイレ表示を追加しているからです。

認知症のあるないに関わらず、誰もがわかりやすい案内になるよう、色や文字の大きさ、目線の高さなどを意識して作成を行いました。

市民の方からも好評で、認知症ご本人にも実際に見ていただき、意見を聞き、その意見を反映して再修正してデザインしています。 1階東側トイレ▶



▲1階西側トイレ

○参加者からの意見

- 近くまで行かなくても、色で判別でき、迷わない。使われているイラストからも「トイレ」と理解できる。
- もう少し下の位置に模様や・文字がある方が見やすいかな。
- 「バリアフリートイレ」「多目的トイレ」よりも「みんなのトイレ」と書くと、優しい感じがする。
- 表示を全体的に見た時に、とてもわかりやすくなっていて、これなら初めて来た人でも間違えないと思う。



認知症
フレンドリー
デザイン

今回は福岡市が提案する
「認知症の人にもやさしいデザイン」を
参考にして、トイレの表示を作成しました。

裏面に続く▶▶

○改善前 1階西側トイレ



○改善後 (試作品)



○改善前 1階東側トイレ



○改善後 (試作品)



区内の事業者さんと一緒に、
素材や発色の検証・違う建物のトイレにも汎用性のある
仕様を検討・開発しています！！！

